

## 議会報告会・意見交換会 開催結果（総務委員会）

開催日時	平成31年1月25日（金）午後1時30分～午後3時35分
テーマ	地域の安心安全について
参加団体（人数）	松江市町内会・自治会連合会 役員15名
出席委員	（総務委員会） 柳原 治委員長、河内大輔副委員長、三島良信委員、津森良治委員、南波 巖委員、森脇幸好委員、橘 祥朗委員、新井昌禎委員、太田 哲委員
開催場所	第1常任委員会室
主な質疑・要望・提言等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代で自治会未加入世帯が多い一方、子どもの見守り活動にも参加されず、自治会が担っているのが現状。単に自治会加入を促すだけでなく、保護者に「子どもの安全は地域で守る」ことや防災の観点から地域コミュニティの重要性を伝えるなど、地域が何を指すのかを示すことが大切。</li> <li>・意宇川が2年連続で氾濫危険水位を超え、避難勧告が出されたが、自治会として何をどこから対応してよいか分からず苦慮した。</li> <li>・地域にドローンがあると、災害時の状況把握に効果を発揮すると思う。</li> <li>・消防団に女性や学生を確保するため、付加価値の付くサービスを実施する自治体もある。</li> <li>・一時避難所である集会所の立地や老朽化で安全性に不安がある。</li> <li>・昨年の豪雪では、生活道路の除雪が見通せず、通勤通学などで苦慮した。</li> <li>・地域の様々な役員を同じ人が兼務しているのが現実。・小さな町内会では、町内会組織と自主防災組織、要配慮者支援組織などを別々に作ることはできない。</li> <li>・それぞれの歴史を持つ古くからの地域と新しい団地との交流がない。</li> <li>・高齢化による自治会脱退者も生じている。</li> <li>・自治会の問題意識を共有しても1年交代でリセットされてしまう。</li> <li>・地域内にある各企業と連携し、昼間と夜間の人口の違いに応じた助け合いの方法を話し合っている。また、地域内の中学校生徒と意見交換を行い、次世代を担う子ども達とまちづくりを話し合っている。</li> <li>・建築業者など地域内の中小企業と災害協定を結べないか。</li> <li>・他地域で町内会加入促進条例、自治会応援条例などを定めた先進地の現状を調査し、導入を検討してほしい。</li> </ul>